



旧市民プールを利用したあわびの養殖場

ネルを設ければ、パソコンだけでなくスマートフォンでも動画の再生が可能になり、また、視聴者の動向分析を行うこともできることから、そのメリットが大きいためと考えられるので、著作権の問題等を確認して検討していきたい。

広中昇平（自由クラブ）

「養殖あわび」のネーミングは

問 蒲郡発あわびとして売り出すためにはネーミングも重要になってくるが、どのように考えているか。

答 現在飼育に携わっている三谷水産高校の生徒の皆さんに、高校生ならではの感性で名前を付けてもらえればと考えており、今後事業化を見越した戦略を考えていく中で、三谷水産高校と相談、協議しながら検討していく。

JR三河三谷駅のバリアフリー化について

問 平成32年度までにバリアフリー化が必要だが、現状と今後の見通しは。

答 JRが施行主体となり障害者対応型エレベーター設置等を行い、約2億円の事業費を国、JR、市が3分の1ずつ負担する計画である。予算化の時期は未定だが、安全で快適な魅力あるまちづくりのため事業を進めたいと考えている。

松本昌成（公明党）

マイナンバー（個人番号）制度について

問 制度の概要について伺う。

答 住民票を有する全ての方に番号を付す事により、複数の機関に存在する個人の情報を確認する基盤となる。行政を効率化し、国民の利便性を高める効果がある。平成27年10月以降にマイナンバーを知らせる個人番号通知カードが配付され、平成28年1月以降、希望者に本人確認のための身分証明書にもなる個人番号カードが交付される。

名鉄西尾・蒲郡線の存続について

問 他の運行形態を検討してみているかどうか。



名鉄西尾・蒲郡線

答 全国では鉄道用地、施設を自治体が保有、管理し、事業者は運行に専念する上下分離方式の採用が多い。メリット、デメリットを考え、他の路線の状況を見ながら、これらの手法を調査研究していきたい。

柴田安彦（無会派）

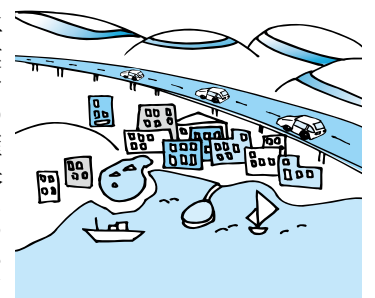
中部土地地区画整理事業について

問 事業計画の見直しと事業完成の見込みを伺う。

答 今年度事業が予定どおり進んだ場合、事業費ベースで55億3千万円、建物移転戸数は119戸が残る事業になる。現在と同程度のペースで事業を執行したと仮定しても、移転で6年、その後の換地で2年の合計8年ほどは必要と見込まれ、事業期間の延長は当然行わなければならない。

問 年間10億円程度の事業費を確保できないか。

答 財政状況が厳しく、また移転困難物件が残っているため予算を消化しきれないという問題もあるの



で、事業費の確保について確約はできない。

問 地権者の協力を得るための対策は。

答 地区の要望によって説明会等を開き、地権者の理解と協力が得られるよう努めていく。また、事業進捗状況等を審議会やまちづくりニュースで周知する。

日恵野佳代（無会派・日本共産党）

ボートレース蒲郡での女性の人権侵害について

問 ボートレース蒲郡にて、浴衣で登場したラウンドガールが、水着姿になるシルエットを、つい立越しに映し出すというイベントが行われた。女性の人権を侵害する企画だと思うが市はどう考えているのか。